



畜産総合センターようゝん通信

平成 30 年 4 月

今年度も、畜産総合センターから「ようんとん通信」を発行します。少しでも皆様の経営の参考になるよう、多様な情報を発信していきたいと思ひます。

◇譲渡月齡について

系統豚を利用していただひている皆様には、日頃から譲渡調整等にご協力いただき感謝申し上げます。

さて、ご利用農家の皆様から、メスの繁殖性やオスの乗駕欲など系統豚の能力に対する様々な要望をいただひております。

当所といたしましては、系統豚の能力を最大限に発揮し、より長く供用して頂くためには、現在高齡化傾向にある譲渡月齡の適正化が一つのカギであると考えています。そこで、雌を6か月齡まで、雄を7か月齡までの譲渡を強くお勧めします。

☆種雌豚

適正月齡：6か月齡まで

理由：当所では制限給餌ができない。

→ 当所での滞在期間が長くなるほど過肥になる傾向（繁殖性への影響）

適正化のメリット：①繁殖成績の向上

②肢蹄事故や母豚ストレスによるトラブル発生等防止

☆種雄豚

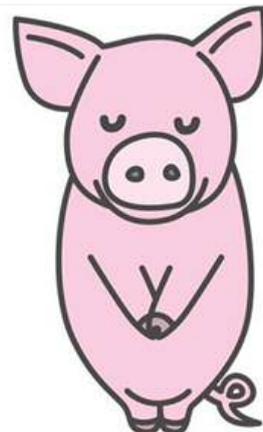
適正月齡：7か月齡まで

理由：当所の飼養環境に慣れてしまう、精液性状確認後に長期間経過となる

適正化のメリット：導入農家に移動した後に乗駕欲が低下することを抑制

豚房を空けることが豚の健康管理及び次の種豚生産及び譲渡待ちの解消にもつながります。

皆様のご要望にお応えするため、今年度も職員一丸となって生産してまいりますので、引続きご協力のほどよろしくお願ひいたします。



☆新しいメンバーの紹介（名前の前に「◎」がついている者が新任です。）

今年度も人事異動により担当者が一部変わりました。新しいメンバーと共に、温故知新の精神で、今年度も業務の改善に取り組みます。

畜産課

畜産課長：岡地啓之
 畜産課主幹：川村悌志
 生産・流通班長：◎野田正人
 養豚担当：長尾健二

農業総合試験場

畜産部長：◎木野勝敏
 養豚研究室長：栗田隆之
 ○系統造成：内倉健造
 ○繁殖試験：田島茂之
 ○繁殖試験：◎相良鮎美（新規採用）
 ○飼養試験：川本隆之
 ○栄養試験：鈴木雅大

畜産総合センター

所長：◎澤寄裕是
 種畜部長：◎豊島浩一
 養豚課長：◎杉本篤紀
 ○譲渡、肉豚出荷：中田智子
 ○分娩管理、登記登録：◎成瀬俊一
 ○豚舎管理、種豚生産・育成
 ：鈴木亮志、霜山英三郎、長友光司、野尻公之、小野伊佐郎

譲渡可能豚

種雄豚

| | L | W | D |
|------|---|---|-----|
| 7月生 | 4 | 1 | 8 |
| 8月生 | 4 | 1 | 5 |
| 9月生 | 2 | 2 | 2 1 |
| 10月生 | 1 | 0 | — |
| 11月生 | 5 | 5 | — |

種雌豚

| | L | W |
|------|---|-----|
| 10月生 | | 1 6 |
| 11月生 | | 4 0 |
| 12月生 | | 1 4 |
| 1月生 | | 2 9 |
| 2月生 | | 3 0 |

各月 10 頭以上おられます